

★能力開発の哲学とテクノロジー

JADEC ニュース

NO.99 2016/3/20

も く じ

★ 研究集会と公開展示開催記録	2
★ 研究紀要・論文・報告書発行一覧	4
★ 機関誌発行一覧	9
★ メールマガジン発行一覧	20

47年の軌跡

能力開発工学センターの活動記録 その2

- ★ 研究集会・公開展示
- ★ 研究紀要・論文・報告書
- ★ 機関誌(アドヴァンスサロン、ニュース)
- ★ メールマガジン



能力開発工学センター（JADEC）は、研究成果をできるだけ広く公開し普及していくために、「研究集会」や「公開展示」を行い、論文を研究紀要や報告書として発表しました。

また、活動に関心を持ち、支持して下さる方々に向けて、その考え方や活動内容を広報するために、「機関誌」の発行、インターネット・サイトによる情報発信、メールマガジンの配信をしてきました。

一般財団法人能力開発工学センター
(Japan Ability Development Engineering Center)

〒352-0032 埼玉県新座市新堀 2-1-7-603 TEL:042-497-8024/FAX:042-497-8044
<http://www.jadec.or.jp/> E-mail : infox@jadec.or.jp

I . 研究集会と公開展示

時代が要求する教育課題について考える研究集会を開催。
研究報告や学習システムの展示等によって
具体的な教育の形を提案しました。

1. 研究集会

開催年	テーマ	備考
1975	教育革新研究会議：ゼロ成長社会における教育訓練のあり方をさぐる ①実践報告とそれをめぐる討議 第1日 創造性の開発と行動形成 第2日 教育転換の方向と対策を探る 第3日 能力の開発と意欲の向上 ②学習システムの公開展示	「教育の近代化展・情報化展京都大会」の一環として
1976	教育革新研究会議 実践報告&見学：大阪ガストレーニングセンター	於：大阪ガストレーニングセンター
1977	研究懇談会：転換期における教育の課題 学習システム見学：東邦瓦斯/東大自動車学校	「教育の近代化展・情報化展名古屋大会」の一環として
1978	《創立10周年記念研究集会》 学習システム公開展示： シンポジウム：転換期における教育問題を考える	於：能力開発工学センター
1979	教育転換の実態を探る（見学とディスカッション） 自動車学校の新しいあり方を探る（見学とディスカッション）	於：黒崎窯業(株) 直方自動車学校
1979	転換期の社会は人間像にどのような変革を要請しているか 実践報告と討議：東日本製糖/フジ製糖/神戸精糖/リコー沼津事業所 他	於：能力開発工学センター (ADE研究会主催)
1981	《転換の時代の労働と生きがいを考える》 研究発表と展示：コンピュータ・コントロールの基本原理を具体的に把握する 討議：1. 知識労働（仕事）時代の到来とそれへの対応を考える 2. 転換期の今、われわれはいかなる挑戦をすべきか	於：能力開発工学センター
1982	《日本産業教育学会第23回大会》 公開展示：学習者が主体的に活動する学習の場をいかに構成するか シンポジウム：産業国際化時代における新たな産業人の形成を考える	於：能力開発工学センター
1983	《コンピュータ教育に関する研究集会》 ディスカッション：コンピュータ学習システム紹介（能力開発工学センター） シンポジウム：コンピュータリテラシーの確立をいかに進めるべきか	於：富山市科学文化センター
1984	《企業の教育実践報告・見学/研究集会》 教育実践報告&見学：黒崎窯業(株)、コンピュータ学習センター直方 研究発表：西日本製糖(株)/新日鉄(株)/(株)リコー/旭化成(株)/国際電電(株) 九州経営研究所/狭山モータースクール/能力開発工学センター シンポジウム：情報化社会において活力ある集団を維持するにはどのような問題があるか	於：黒崎窯業(株) 直方商工会議所
1991	《新たな時代の能力開発を考える》 実践報告：(株)リコー沼津事業所 /大阪ガス(株)営業研修センター 能力開発工学センター シンポジウム：情報社会に対応する主体的能力の開発をどう進めるか	於：機械振興教会館
1992	《激動の時代の能力開発を考える》 実践報告：(株)安川電機 / 新日本製鉄(株)広畑製鉄所 / 日本電気ソフトウェア シンポジウム：情報社会を創る主体的行動力を育てるために教育はいかに転換すべきか	於：国立教育会館

1994	≪企業革新を担う挑戦・開拓する人材をどう育てるか≫ 実践報告：旭化成工業(株)延岡技術訓練センター / 東邦ガス(株)トレーニングセンター / コヤマドライビングスクール / 能力開発工学センター オープン討議：変革期における創造的主体的能力の開発を目指して	於：国立教育会館
1995	≪変革期における創造的主体的能力の開発を目指して≫ 実践報告：フジ製糖(株) / 富士ゼロックス(株) / 能力開発工学センター オープン討議：企業革新を担う、挑戦・開拓する人材をどう育てるか	於：国立教育会館
1997	能力開発実践発表会：松下電池工業(株)/仙台市ガス局/鹿島石油(株)	於：国立教育会館

2. 開発した学習システムの公開展示（研究集会とは別に実施したもの）

開催年	テーマ	備考
1970	OECD,文部省共催『教育におけるコンピュータ利用に関する国際セミナー』にて、CAIシステムに関する研究成果	能力開発工学センターのCAIシステムを見学
1972	≪学習システムの提案と展示≫ 電気のしらべかたー探究行動を育てる学習システム シミュレータによる自動車運転 シミュレータによる理容ヘアカッティング 問題提起ーこれからの教師に必要な能力は…	於：教育の近代化展
1972	自動車運転/チェンソーによる伐木造材作業/理容カッティング技術 CAIシステム（電気の学習）他	於：能力開発工学センター
1974	クレーン運転/自動制御/CAIシステム/航空管制 他	於：能力開発工学センター
1975	シミュレータ機能の探究/科学的探究姿勢の形成/コンピュータの学習 創造的技術の形成/行動分析からシステム設計まで	於：能力開発工学センター
1980	手順からの離脱/グループ学習/脱知識注入/企業の活性化と教育の問題	於：能力開発工学センター
1983	≪FA/OA時代の万人に必要なコンピュータ学習≫ 構案教材によるコンピュータ学習システムの公開	於：能力開発工学センター
1984 ～89	≪科学技術週間に合わせた公開展示≫ 構案教材によるコンピュータ学習システムなど	於：能力開発工学センター
1997	JADEC 式技術研修チェックリスト/電気・制御の入門学習 他	於：能力開発工学センター
1998	電気・シーケンス制御入門/キータイピング/	於：能力開発工学センター
1999	ろう学校向け電気・制御入門学習システム/キータイピング 他	於：能力開発工学センター
2000 ～03	電気・シーケンス制御入門/キータイピング/血圧測定 他	於：能力開発工学センター
2004	電気入門シリーズ/理科教員の授業力を育てる/脳の働き方に合った学習とは	於：能力開発工学センター
2005	現場力としての論理的思考力を育てる 教習分析セミナー（運転教習指導員の教育） 他	於：能力開発工学センター
2006	学習は楽しくなくてはならない/基礎技能からオートメーション工場の工程管理まで	於：能力開発工学センター
2007	技術継承の視点/ワークブレース・ラーニング/脳の働き方にあった学習	於：能力開発工学センター
2008	フィードバック制御学習/映像記録分析による探究学習指導力育成 脳にとっての失敗の意味/40年の軌跡（これまでに開発した学習システム）	於：能力開発工学センター
2009	JADECの電気学習/脳を知って科学的に能力アップ これまでに開発した学習システム	於：能力開発工学センター
2010	JADECの電気学習/脳の働き方とコミュニケーション学習 これまでに開発した学習システム	於：能力開発工学センター
2011	人材育成には脳行動学が欠かせない/リソグの皮むきでつむぎ技術学習のホイト これまでに開発した学習システム	於：能力開発工学センター

Ⅱ． 研究資料・研究紀要

研究報告書は、当初は「研究資料」という名で、基本的な考え方や情報提供的なもの、企業における実践報告などを中心にして作成。13号以後、実験・実践報告や分析からの考察が中心となり、21号からは名称も研究紀要と変更しました。また、前身のプログラム教育研究所時代の報告書10冊も、研究内容が能力開発センターに継承されたものであるため、合わせて掲載しました。

No.	発行年	タイトル	執筆者
	66	訓練科学技術に関する特別研究資料	プログラム教育研究所
	66	プログラム教育 ―その基本的考え方―	矢口 新
	67	制御整備工基礎能力としての電気・電子基礎課程プログラミングの研究 (I)～教材・資料に基づく行動の分析を中心にした～	プログラム教育研究所
	67/3	プログラム方式による教育訓練に関する研究(行動分析方法の研究およびモデルプログラムの試作研究)	プログラム教育研究所
	67/8	プログラムテキストの適用に関する実験的研究 ―銀行の実務教育における事例―	プログラム教育研究所
	68/3	訓練科学技術に関する総合研究報告書 ―プログラム方式による教育訓練に関する研究―	プログラム教育研究所
	68	企業内教育における学習システムの開発 ―特調費による委託研究報告を中心にして―	能力開発工学センター
	不明	能力開発とプログラム教育	矢口 新
	不明	教育の目標と方法	プログラム教育研究所
	不明	教育における行動 ～目標行動の構造分析～	矢口 新
1	68/11	教育の近代化と学習システムの開発	矢口 新
2	69/01	教育方法の転換―プログラム学習の考え方 [実践報告] わが社におけるプログラム教育の推進 [海外 CAI 情報] 米国における CAI の研究	矢口 新 紙谷良夫(黒崎窯業) 足立 武(東京芝浦電気)
3	69/03	[対談] 技術教育の効率化 [実践報告] わが社におけるプログラム教育の推進 第2回 [海外 CAI 情報] アメリカ経済発展協議会による学校教育の新しい指標 に対する勧告	矢口新/加藤博明(八幡製鉄) 紙谷良夫(黒崎窯業) 小澤秀子
	69	科学技術庁特別研究促進調整費による CAI システムに関する報告書	能力開発工学センター
4	69/05	教育革命への提言	矢口 新
5	69/10	「脳波判読」学習システム設計のプロセス 「板金図面のよみ方」プログラムテキスト開発の過程について	中島茂人(三栄測器)/小澤秀子 小川進也(関東自動車工業)/ 室田倬
6	69/12	監督者教育の問題(1) [海外 CAI 情報] タイプライター操作の訓練システム	矢口 新 室田 倬
7	70/01	[研究報告] 技能形成の原型 [実践報告] コンピュータを使った「コンピュータ入門の教育」 [内外情報] アメリカにおける教育情報システムの現状	室田 倬 小澤秀子/塩田昭典 寺嶋将起(科学技術庁計画局)
8	70/02	[研究報告] 技能(行動)分析の諸問題 [実践報告] 教育方法改善への道 [内外情報] 自主的な学習のための教育技術の革新	塩田昭典 村井 勇(海上自衛隊) (全米教育協会機関誌抄訳)
9	70/03	学習におけるものの効用―教育訓練シミュレーター シミュレーションによるスキル・テスト訓練(日本航空乗員訓練センター見学記) 〈内外情報〉企業における科学技術者の再教育等に関する調査報告について	矢口 新 編集部 松本功(科学技術庁計画局)

別刷	70/05	人間の行動とは何か 他	矢口 新
別刷	70/05	学習システム設計の考え方	小澤秀子
別刷	70 頃	コンピュータによる学習指導	矢口新/小澤秀子
10	70/09	CAI システム開発の現状と問題点 [実践報告] 板金図面を読むためのプログラム・テキストの開発	矢口 新 小川進也 (関東自動車工業)
11	70/11	対話の技能は訓練できるか 個人用ティーチングマシン—国内の現状と展望— 講座：プログラミング①	矢口 新 宮本邦男 安田 浩
12	71/03	良い教育機器か学習改革か —メディアを使った教育技術の現状 (アメリカ) — CAI による社内教育—にほん IBM 社見学記— 講座：プログラミング②	矢口 新 小澤秀子 矢口 新
13	71/09	自動車運転訓練システムに関する研究	矢口 新
14	71/10	情報処理教育への新しいアプローチ 川崎製鉄千葉教育センター見学記	塩田昭典 矢口 新/宮本邦男
15	72/07	[実験報告] プログラム学習方式によるコンピュータ入門教育の実験研究	
16	72/11	技能形成に関する研究報告 心をつくる—柳生流兵法家伝書にみる人間形成観 理容ヘアカッティング技術の訓練システム設計 チェンソーによる伐木造材基礎訓練システムの開発	矢口 新 矢口 新 安田 浩
17	72/11	[実験報告] プログラム学習方式によるコンピュータ入門教育の実験研究 2. 企業内管理者教育における教育実験—黒崎窯業(株)の例— 3. 富山県高等学校生徒に対する情報処理教育の実験	矢口 新 矢口 新
18	72/11	科学教育に関する研究報告	矢口 新
19	73/09	教育革命への提言 その2 Ⅰ 転換期にある社会は教育者に何を要求しているのか Ⅱ 転換期における教育革新を考える Ⅲ 行動形成の場をつくるのに何をなすべきか	矢口 新
20	74/03	科学教育に関する研究報告 第2部 探究行動形成のためのCAIシステム	小澤秀子/渡辺牧子/矢口新
21	74/05	創造する心の形成 —職人衆昔話より—	矢口 新
22	74/05	心の形成を町人はどう考えたか —日本永代蔵による—	矢口 新
23	74/05	行動による心の形成 —正法眼蔵随問記による—	矢口 新
24	75/03	技術教育の本質を探る—ヘアカッティング技術を例にして—	矢口 新
25	75/07	科学教育に関する研究報告 第3部 探究行動を育てる教育の姿勢 (第1分冊)	矢口 新
26	75/07	科学教育に関する研究報告 第3部 探究行動を育てる教育の姿勢 (第2分冊)	矢口 新
27	75/07	教育革命への提言 その3 ゼロ成長社会の人間と教育のあり方をさぐる	矢口 新
28	75/07	学習システムと行動分析 Ⅰ 何故行動を問題にするのか Ⅱ 行動形成システムと行動分析 Ⅲ 学習行動の展開と設計	矢口 新

29	75/07	航空管制行動の学習システム/コンピュータサイエンスの学習システム	塩田昭典/小澤秀子
30	75/07	[探究学習実践報告] 富山県科学教育センター, 福光町教育センター 小学校: 探究学習による創造力の向上をめざして 中学校: 探究行動を育てるクラブ活動の実践研究 高等学校: 生徒の行動はどのようにかわったか 教師: システム開発における教師の探究姿勢	富山県福光小学校 畑 清雄 福光町教育センター 土生居弘 県科学教育センター 高畠行雄 県科学教育センター明瀬正則
31	75/07	[実践報告] パイロットの地上教育訓練の現状と問題点 シミュレータによる運転訓練システムの効果について シミュレータによる運転教習実験に参加して 変わりつつある私たち 全教官の努力で新しい訓練プログラムの創造を	日本航空(株) 本間正男 能力開発工学センター 安田 浩 小諸自動車教習所 武井勝利/桜井秀臣 小諸自動車教習所 木島和郎 小諸自動車教習所 木島公昭
32	75/07	[企業内教育転換に関する実践報告] 耐火煉瓦成形機: 全自動リカヨソ [®] の運転・整備訓練コースについて 企業内教育転換の方向	紙谷良夫 黒崎窯業(株) 山元朔郎 川崎製鉄(株)
33	75/07	[実践報告] 仕事に打ち込む技術者の形成—天然ガス転換の調整員教育	大阪ガス(株) 川上亨/諏訪秀行
34	75/07	[実践報告] シミュレータを利用したプログラム学習方式による技術形成の効果について	林誠一/柴崎宣雄/守屋武/関根茂男/野尻万憲/金本博昌 横浜商業高等学校別科
35	76/10	特別研究促進調整費による安全行動形成の方法論による研究報告 —航空管制行動訓練システム—	安田 浩 他
36	77/03	高齢化社会における生涯学習への一つの通路 製糖工場のオートメーション化に伴う従業員再教育プロジェクト中間報告	矢口 新
37	78/10	企業内教育の転換 製糖工場のオートメーション化に伴う従業員再教育プロジェクト第二次報告	矢口 新
38	78/10	近代教育が作り出せない人間像 コンピュータシミュレータによる論理的構想力の形成 ラジオ修理技術の学習システムの設計 造林作業の学習システムの概略 看護・ベッドメイキングの学習システム(概略)	矢口 新
39	79/10	生活における人間修行 —生涯学習の原点—	矢口 新
40	79/10	[企業内教育転換への実践報告] 産業現場に働く人々の主体的姿勢をいかにして育てるか 行動分析の苦労話 真の合理化は能力開発から 能力開発工学センターの学習システムによる技術教育の実施報告 [自動車教習転換への実践報告] 新しい自動車学校づくりの実践 高速道路走行の学習システム概略	矢口哲郎 能力開発工学センター 吉田正孝 黒崎窯業(株) 吉田行之 東日本製糖(株) 桜庭慎吾 神戸精糖(株) 石部伴都 直方自動車学校, 矢口 新 能力開発工学センター
41	79/10	看護婦の行動能力の形成と行動分析	矢口みどり
42	80/11	労働と生きがい—転換期の思索 第1部— [座談会] 学校論 —その視座をどこに— 藤田広一(慶応大学工学部長) / 佐藤秀夫(国立教育研究所教育資料室長)	矢口新
43	81/02	転換期の思索 第2部 挑戦の時代 —人間改造への提案—	矢口 新
44	81/12	技術移転の教育学 —経済協力の理念を実現するために—	矢口 新

45	83/07	人間とコンピュータの調和ーコンピュータリテラシーの問題を考えるー	矢口 新
46	84/07	科学技術リテラシー, コンピュータリテラシーと学習カリキュラム改造の問題	矢口 新
47	84/09	人間の脳はどんな風に行動のモデルをものにするか ー教育学以前の話ー	矢口 新
48	85/03	コンピュータリテラシー・シリーズ 第1分冊 第1部 コンピュータリテラシーとはーコンピュータ教育の社会基底ー 第2部 コンピュータ社会に生活するすべての人々に必要な能力とは	矢口 新 小澤秀子
49	85/04	コンピュータリテラシー・シリーズ 第2分冊 第3部 コンピュータリテラシーを育てる学習の場はどのように構成したらよいか	矢口みどり
50		欠番	
51	85/08	コンピュータリテラシー・シリーズ 第4分冊 第5部 人々はどのようにしてマイクロエレクトロニクスになじんでいくか	矢口 新
52	85/11	コンピュータリテラシー・シリーズ 第3分冊ー1 第4部 構案教材による学習の展開 序論 学習者たちは何を獲得したか	矢口 新
53	85/12	コンピュータリテラシー・シリーズ 第3分冊ー2 第4部 構案教材による学習の展開 本論 学習行動の多角的解析 Ⅰ 課題による探究活動はどのように行われたか Ⅱ コンピュータを使う論理を育てる構案教材ーそれは有効に働いたか Ⅲ グループ学習はどのような意味を持ったか	矢口哲郎 小澤秀子
	86/01	コンピュータ教育・研修に関するプログラムについての調査研究	能力開発工 学センター
54	88/03	日本における科学思想の移植 その1 閉鎖社会日本の形成	矢口 新
		CAL(CA I)研究シリーズ1 キーボード操作の学習におけるCALの効果	矢口哲郎 叶内盈子 白尾彰浩
		技能伝習から能力開発へ ー職業訓練転換への提言ー	矢口哲郎
55	88/10	日本における科学思想の移植 その2 ヨーロッパ17世紀における近代科学技術の発達の基礎 その3 ヨーロッパ17, 8世紀における精神諸科学あるいは思想の役割について	矢口 新
56	89/03	日本における科学思想 本論 二つの選択・鎖国と開国 第1部 鎖国	矢口 新
57	89/03	日本における科学思想 本論 二つの選択・鎖国と開国 第2部 開国	矢口 新
58	89/07	発展途上国に対する教育援助を考える ーリアド電子工業高校教員の研修に協力してー	矢口新 小澤秀子 矢口哲郎 白尾彰浩 他
59	91/06	小中学校へのコンピュータリテラシー教育の導入に関する研究	小澤秀子
60	91/07	海外技術研修生に対する教育の問題 九州国際センターにおけるコンピュータリテラシー研修の実践を通じて	矢口哲郎
61	91/11	[企業内教育実践報告] 新たな時代の能力開発を考える 情報化時代に対応する主体的サービスマンの育成 TPM 推進を支える製造部門と教育部門の連携	野尻良樹 大阪ガス(株) 南武男/川島年久 (株)リコー
62	93/03	[実践報告] システム思考を育てるコンピュータ教育 職場のコンピュータ化及び職種転換に対応する現場作業員のコンピュータ研修 安川電機における新入社員に対するマイクロエレクトロニクス (ME) 研修 ソフトウェア技術者の基礎教育としてのリテラシー研修	新日鉄広畑製作所 安川電機(株) NEC ソフトウェア(株)

63	93/03	パソコンソフトウェアを主体的に活用する能力をどのように育てるか	小池いづみ
64	94/06	変革期における創造的主体的能力の開発をめざして 旭化成工業(株) / 東邦ガス(株) / コヤマドライビングスクール	
65	95/3	ユーザーの持つべきシステム構築能力の育成に関する研究 —中小企業のシステム化教育を材料にした実践的カリキュラム開発—	矢口哲郎 白尾彰浩 小池いづみ
66	97/10	コミュニケーション能力を育てる	矢口みどり
67	99/03	学生の主体性を読み取る—行動姿勢の視点から なぜ、行動姿勢を問題にするのか/学生のレポートから行動姿勢を読み取る 行動姿勢を育てる学習の場をどう設計するか/ 臨地実習、本当の学習がそこから始まる	矢口みどり 大森武子 大下静香
68	99/03	行動分析の諸類型	小澤秀子
69	00/03	看護のセンスを育てる—探究的学習行動を通して	矢口みどり 大森武子 大下静香
		血圧測定原理学習用シミュレータ開発のねらいとその構成	矢口みどり
70	01/11	教員のためのコンピュータ・インターネット活用能力形成に関する実践研究	矢口哲郎
71	01/11	主体的行動力を育成する技術教育のカリキュラム編成についての研究 —基礎看護技術を例にして—	矢口みどり
72	04/06	教員の授業力育成に関する実践的研究 —理科発展的学習における試み—	矢口哲郎 白尾彰浩
73	04/06	理科発展的学習における試み その2 よりよい授業づくりを目指して—現場の教師たちとともに—	白尾彰浩 矢口哲郎
74	04/10	デジタル教材を活用した理科授業の分析 生徒はなぜ「生物」を好きになったか スーパーサイエンス・ハイスクール「遺伝」の2授業における効果	矢口みどり
75	07/03	[実践報告] 1. 現場リーダーの育成 —食品製造における技術継承の教育— 2. 指導記録の自己分析による指導の改善 —自動車運転教習の例で—	矢口哲郎
76	07/09	[学習指導力向上への提案] 多画面映像による学習指導記録の自己分析 —平成18年度新技術振興渡辺記念会助成調査研究—	矢口みどり
77	09/03	[学習指導力向上への提案] 科学分野における探究活動指導力育成方法の研究	矢口みどり
78	09/03	[実践報告] 指導法改善プロジェクトの取り組みとその意味 —自動車教習指導員の指導力向上の研究—	矢口哲郎
79	12/03	構造的に技術を学ぶ—看護技術学習のカリキュラム構成について	矢口みどり
80	13/03	矢口新の教育思想と実践の研究—地域を建設する人間育成のあり方を探る Ⅰ. 水海道小学校保存資料調査	矢口みどり 矢口教育学研究会
81	13/03	矢口新の教育思想と実践の研究—地域を建設する人間育成のあり方を探る Ⅱ. 北加積小学校元教師へのインタビュー	矢口みどり 矢口教育学研究会
82	15/03	高齢運転者の事故防止のための自動車運転能力「自覚⇄修正」シミュレータの研究	榊 正昭 矢口みどり

Ⅲ． 機 関 誌

能力開発工学センターの機関誌は、発足 10 周年記念研究集会（1978 年）の折に誕生したセミナー卒業生の会「ADE 研究会（本物の教育を考える会）」の会報“アドヴァンス・サロン”としてスタートしました。

31 号より、能力開発工学センターの活動紹介・報告を中心にした能力開発ニュースにスタイルを変え、さらに 67 号からは、JADEC ニュースと名称を変更し発行してきました。

1. アドヴァンス・サロン 1～30号

No.1 1978/10	特集1 座談会：本物の教育を考える会をつくろう …………… セミナー卒業生 他 特集2 KDD25周年懸賞一等当選論文紹介 「行動学習形態による新しい教育訓練の一方法 ―電信端局装置、訓練用ソフトウェアの開発を例として―」…………… 国際電信電話(株) 田村武志 ☆人間愛の産物 ☆経営と教育（九州経済レポートより転載） ☆サロン・ド・サロン
No.2 1979/3	☆お手伝いさせてください …………… ADE 研究会会長代行 井手 勝 特集Ⅰ 能力開発工学センター10周年記念行事報告 …………… 能力開発工学センター レポート：特別公開展示「10年の歩み」 パネルディスカッション：転換期における教育問題 特集Ⅱ 東京支部研究会報告 ☆評論・尽言集 ☆生産的な読書のために ☆サロン・ド・サロン（会員のページ）
No.3 1979/10	[巻頭寸言]「ウチ」から「ソト」へ…………… 小澤秀子 特集 教育の革新をめざす行動学習の実践（企業内教育実践報告その1） 東邦瓦斯(株)における天然ガス転換調整員の養成 …………… 東邦瓦斯(株) 土屋光夫 ☆評論：定年制延長と能力開発…………… 矢口 新 ☆尽言集 ☆図書紹介：教育荒廃のメカニズムを解く5冊 ☆サロン・ド・サロン
No.4 1980/3	[巻頭寸言] 近代主義の克服 …………… 井登幸男 特集 研究集会報告「転換期の社会は人間像にどのような変革を要請しているか」 ☆対談風評論：80年代の行動…………… 矢口 新 ☆尽言集 ☆サロン・ド・サロン ☆ADE 北陸デー短信 ☆ADE 研究会総会報告
No.5 1980/6	[巻頭寸言] 危機を感じる感覚 …………… 矢口哲郎 特集 労働・レジャー・学習 パート1 企業内教育実践報告その2「だれのための学習か」……………東日本製糖(株)製造部 吉田行之 パート2 東京 ADE は考える ☆対談風評論：行動がチトーを生んだ ☆図書紹介：生きた問題を考えるための経済学 ☆尽言集 ☆サロン・ド・サロン ☆来信集
No.6 1980/10	[巻頭寸言] 豊かな社会、貧困なビジョン …………… 編集子 特集Ⅰ 企業内教育実践報告その3「職場の活性化を目指して」 ……………フジ製糖(株)学習センター 小松 宏 特集Ⅱ 8月東京 ADE デー：労働・余暇・教育を貫く企業の理念とは ☆対談風評論：名もなき民の心 ……………矢口 新 ☆尽言集 ☆図書紹介：企業人の本格的な教育研究のために ☆サロン・ド・サロン
No.7 1981/2	[巻頭寸言] ささやかな実践…………… ADE 研究会会長代行 井手 勝 特集 生きがいを探す教師たち 私たちの挑戦…………… 高岡女子高等学校衛生看護科 座談会…………… 高岡女子高等学校/新川女子高等学校/富山女子高等学校 生徒の感想文から ☆図書紹介：『海後宗臣著作集』―転換期の教育政策を考えるために― ☆対談風評論：学校内暴力ってなんだ ☆尽言集 ☆サロン・ド・サロン

No.8 1981/10	<p>[巻頭寸言] 私のアンテナ レーダー</p> <p>特集 挑戦の時代 ー日本の生き方を考えるー</p> <p>■国際経済協力とは何をすることか 途上国への技術移転の問題..... 編集部 《座談会》現場にはどんな問題があるか..... 8月東京 ADE デーより 経験からの提言二つ 日本鋼管(株)奥田健二 / 日本アジア海底ケーブル(株)古橋好夫</p> <p>■われら市民の挑戦は？ 対談風評論：われら市民の挑戦は？..... 矢口 新 企業内の教育担当者は考える... 黒崎窯業(株)/旭化成工業(株)/電電公社/日本電気/川崎製鉄(株) 文化活動としての地域運動 千葉ニュータウン 臼杵 明 学校に新たな歴史が始まりつつある：乳幼児家庭訪問を行って 新川女子高等学校</p> <p>☆関西 ADE 研究会 ☆図書紹介：親が本当の親になるために</p>
No.9 1982/4	<p>[巻頭寸言] 第三の黒船 センサー</p> <p>特集 放談で考える ー国際化時代の産業と産業人の育成の問題ー</p> <p>■変革を目指して：ローマクラブの仕事 未来への羅針盤：『人類の使命ーローマクラブはなぜ生まれたか』..... 小澤秀子</p> <p>■閉鎖国家日本の世界進出、これでよいのか？ 地球人</p> <p>■教科書問題の基底を考える 教科書問題とは何なのか / 十年前と今とー教育技術予測を懺悔するー / 十年前の技術予測</p> <p>☆九州 ADE 研究会、黒崎窯業研修場にて開かる ☆尽言集 ☆サロン・ド・サロン</p> <p>☆対談風評論：平和への挑戦ー署名運動の次が問題..... 矢口 新</p>
No.10 1982/8	<p>[巻頭寸言] 雨乞いの風景 センサー</p> <p>■第3回（昭和56年度）総会報告</p> <p>■東京 ADE デー：総会記念討論会ー生き生きした職場をつくるー..... 編集部</p> <p>■教育問題の規定を考える：生涯学習を企業はどう考えるべきか 矢口 新</p> <p>☆対談風評論：忠臣蔵と黄門様 ☆サロン・ド・サロン ☆能開センター近況</p>
No.11 1983/1	<p>[巻頭寸言] 節約の伸びは生活のレベルアップ..... 矢口 新</p> <p>■'82 ローマクラブ東京大会参加の記..... 編集部</p> <p>■ADE は産業教育学会で何をしたか..... 能力開発工学センター シンポジウム「産業国際化時代における新たな産業人の形成を考える」 学習システム展示 / 研究発表</p> <p>■インストラクター奮戦中：新名糖学習見ルポ ☆図書紹介：IL/IT/IC/技術を超えるために</p> <p>☆対談風評論：評論なんかしていてよいのかー新しい運動の必要ー ☆サロン・ド・サロン</p>
No.12 1983/1	<p>教科書問題に対処するために ー恐るべき精神汚染を未然に防止するー 矢口 新</p> <p>教科書問題の発生 / 密室の検定政策 / 教科書市民運動 海外はどう反応したか / 国際化時代の教育観・教科書観 / 皇国史観からの離脱運動</p>
No.13 1983/7	<p>[巻頭寸言] プロイラーからの脱出..... 矢口 新</p> <p>特集 《藤田広一氏追悼座談会》日本人に必要な非言語的行動と絶対思考</p> <p>☆対談風評論：俺たちはどうすりゃいいんだ ☆図書紹介：古代史研究のすすめ ☆サロン・ド・サロン</p>
No.14 1983/10	<p>特別号 コンピュータ・リテラシーの問題を検討する</p> <p>シンポジウム：人間とコンピュータの調和を目指して（司会：矢口 新）</p> <p>提言者：今村令子（文部省大臣官房）/大沢陽太郎（コンサルタント事務所 MPM） 米島秀次（富山県総合教育センター）/小澤秀子、矢口哲郎（能開センター）</p> <p>指定討論者：安田浩（秋田大学）/高柳登（富山インテック社）/高信政雄（富山県教委） 土生居弘（出町中学校教諭）/加賀谷新作（富山県福野高校校長）</p> <p>☆対談風紹介：コンピュータ・リテラシー（ミニマム能開試案）..... 能力開発工学センター</p>

No.15 1983/10	特別号 コンピュータ・リテラシー運動 —発生と展開— 人間とコンピュータの調和 …………… 矢口 新 欧米のコンピュータ・リテラシー運動の動向 1. 英国初等教育におけるマイコン導入の示すもの…………… 浅野年男 2. 技術革新に教育はどう対処するか(イギリス)…………… 矢口哲郎 3. アメリカにおけるコンピュータ・リテラシー運動の動向について …………… 井登幸男 ☆日本におけるリテラシー運動の方向を探る…………… 編集部 ☆先導的実践の弁、二つ：清山公雄(一ツ葉自動車学校社長)/町田靖治(狭山E-スクール社長)
No.16 1984/5	特別号 教育改革の中のコンピュータ・リテラシー —社会の変化と教育の革新— I 《討論で考える》いま、教育改革とは何をすることか —みんなが求める革新的学習— II 1983年コンピュータリテラシー運動をかえりみて III リテラシー運動をめざして ☆フランスのコンピュータリテラシー運動 …………… ☆コンピュータサロン夢対談 ☆経済大国?の教育改革 …………… ☆ADE研究会報告(ADE関西支部)
No.17 1984/7	特集 コンピュータ・リテラシー(CL)運動推進会議報告 ■座談会：直方の実践報告をめぐって 一常に初代の精神を— ■報告：能開カリキュラム紹介/サロン運営についての話合いから —コンピュータサロン指導開始 ■CL会議を終えて(石部伴都/町田靖治) …………… ■見学報告：直方サロン学習室(浅野年男 / 安藤悟) ☆子供が課題をもって学習するカリキュラムを …………… ☆会員からの便り
No.18 1985/3	I いまなぜリテラシーか…………… 矢口 新 コンピュータ・リテラシー問題の発生 / 安易な「学習指導への利用」の危険性 II 1984年度研究集会から ■講演：自主性と創造性の育成こそ必要…………… 矢口 新 ■パネルディスカッション：情報社会において活力ある集団を維持するにはどのような問題があるか ■研究発表：プラント運転員の技能訓練 …………… 旭化成(株) 居倉鉄生
No.19 1986/4	■能力開発工学センター、コンピュータ教育の普及に乗り出す ■スウェーデン、エレクトロラックス社より研修に —矢口教育学の導入を目指して— ・彼らはセミナーをどう評価したか —新聞記者のインタビューに答えて— ・日本生産性新聞の報道 <<ダルマに寄せるカイサムリンの思い>> ・スウェーデン研修生に対するセミナーを終えて(能開センター所員座談会) ・心の通じる喜び—彼らの人間性に触れて(能開センター所員) 《追悼》飯島篤信氏を偲ぶ…………… 矢口 新
No.20 1987/3	21世紀を迎えるために市民が考える 特集I 国際化への課題 ■資料にもとづく討議：日本社会と人の閉鎖性を考える 資料：NHK緊急レポート「アメリカからの警告」より / 和辻哲郎『鎖国』より 犬養道子『アウトサイダーからの手紙』より / 日高義樹『日本一流国論を嗤う』より ■教育に関する国際協力の経験から…………… 能力開発工学センター 報告1 発展途上国の人々の研修に対する協力 報告2 先進国の人々に感動 ①スウェーデンから研究に —能開教育の思想と方法について— ②なぜ日本では能開システムが利用されないか—ニューメディア委員会の疑問— 特集II コンピュータと教育の課題 ■その1 20年前アメリカが描いた構想 / 20年後の今、アメリカが目指している方向 ■その2 日本の能力開発工学センターは20年間何をやったか ①CAIを採用する前にやるべきことがたくさんあることを忘れてはならぬ ②コンピュータの正体をとらえる学習とは—構案学習の試み— ③コンピュータ学習はどうあるべきか …………… ④「構案学習」が物語るものは何か ☆子育て日記 …………… ☆対談風時評：社会資本考現学 …………… ☆図書紹介：閉鎖性を考えるための資料
No.21 1987/7	■日本社会と人の閉鎖性 —矢口教室の討議を読んで—…………… 東京大学名誉教授 細谷俊夫 ■アメリカ動向：教育へのコンピュータ利用…………… 日本電気ソフトウェア 小荒井順/寺島祐一 ■ディスカッション：アメリカ教育の背景を探る ☆対談風時評：村社会考現学 …………… ☆全国からの声 …………… ☆子育て日記2…………… 矢口みどり

No.22 1988/3	<p>■矢口教室の討議：学歴社会を変えるために —市民がやれることは何か—……………東京ADE</p> <p>■みんなでつくろう！！「枕草子現代版」—快適な社会づくりという点から気になること—</p> <p>☆対談風評論：ウォッチング生活文化 ☆海後宗臣先生の死を悼んで……………矢口新</p>
No.23 1989/3	<p>《特集》 市民の立場からの提案：現代版「枕草子」を作ろう</p> <p>■サウジからの研修生受け入れ……………小澤秀子 ■10年ぶりの製糖工場 ★子育て日記3</p>
No.24 1989/12	<p>特別号 生きがいの創造</p> <p>前 文：世紀の風を吹かせよう……………矢口 新</p> <p>第一部 憤りを発して —こんなダメ社会に誰がした—</p> <p>第二部 ダメ社会にしてしまった諸悪の根源を探る</p> <p>労働をめぐる問題領域 / 障がい者をめぐる問題領域 / 政治改革をめぐる問題領域 / 医療と保健をめぐる問題領域 / 外国とのつき合いをめぐる問題領域 / 地球環境保護をめぐる問題領域 / 生涯学習をめぐる問題領域</p> <p>第三部 解決へのアプローチ —社会改革への生涯学習計画への提案—</p> <p>[1]人生の中の労働をめぐる問題領域 <その1> 問題の究明</p>
No.25 1990/3	<p>特別号 生きがいの創造</p> <p>第三部 解決へのアプローチ —社会改革への生涯学習計画への提案—</p> <p>Part-I <その2> 前進のための討議</p> <p>[1]人生の中の労働をめぐる問題領域</p> <p>Part-II 問題の究明</p> <p>[2]障がい者をめぐる問題領域 [3]政治改革をめぐる問題領域</p> <p>[4]医療と保健をめぐる問題領域 [5]外国とのつき合いをめぐる問題領域</p> <p>[6]地球環境保護をめぐる問題領域 [7]生涯学習をめぐる問題領域</p> <p>■活動に参加してきた人々の声 ■これまでに参考にしてきた資料から</p>
No.26 1990/6	<p>矢口 新 先生 追悼号 [人間教育をめざし、教育革新に捧げた54年]</p> <p>I 矢口先生の生涯と活動 —人間教育の実現を目指した矢口教育学— (付：年表)</p> <p>第一期 教育研究の姿勢と方法を習得した時代 —海後教育学に導かれて—</p> <p>第二期 矢口教育学の基礎をつくった国研時代</p> <p>第三期 矢口教育学の思想と方法論を確立した「能開」時代前期</p> <p>第四期 矢口教育学による社会改革を模索した「能開」時代後期</p> <p>II スピーチ：久保田晃/加賀谷新作/元木健/前田隆一/紙谷良夫/安倍晋一/上谷良一/岩井達也</p> <p>III サロントタイムスピーチ：渡辺茂/水島保/井手勝/嶋原良樹/沼野一男/篠田知武/矢口志津子/小荒井順</p>
No.27 1991/4	<p>明日をひらく教育に情熱をそそいで —矢口新先生の行動と言葉の記録—</p> <p>私と教育研究……………矢口 新</p> <p>第1部 多彩な活動の国研時代</p> <p>1. 教育調査の先達としての矢口先生と共に —国研での研究を通じて—</p> <p>2. 「富山総合教育計画」の推進者、矢口先生 3. 学校現場と共に歩んだ研究者、矢口先生</p> <p>4. 新しい教材づくりの実践者、矢口先生 5. プログラム学習運動の指導者、矢口先生</p> <p>6. ボランティア学習運動の指導者、矢口先生</p> <p>第2部 能力開発一筋、獅子奮迅</p> <p>1. 産業現場の教育革新に挑む</p> <p>2. 探究行動形成のための学習システム開発に打ち込む</p> <p>3. “意欲”を育てることに情熱を注ぐ</p> <p>4. 民間教育研究財団、能力開発工学センターの経営に苦労する</p> <p>☆忘れ残りの記……………矢口志津子 ☆これからのために……………矢口 新</p>
No.28 1992/1	<p>■市民が考える</p> <p>「地球社会をつくるためにどんな行動を身につけるべきか」—ADEデーの話し合いから—</p> <p>■市民の立場からひと言 —「生きがい創造」運動を進めるために—</p> <p>本当に必要なものを / お金のつきあい方にも世界的視野を / 豊かな心を育てるための一歩 他</p> <p>☆本・本・本：『女性への十七の手紙』『豊かさのゆくえ—21世紀の日本—』</p> <p>『日本/権力構造の謎』『日本をどうする！？』『新しい現実』</p> <p>『精神と物質』『人生は探検なり』『国際協力の新しい風』</p> <p>☆若者の声：新入社員奮戦記 / 転職のきっかけになったことば ☆子育て日記4</p> <p>☆能力開発工学センター近況：システム構築能力形成の研究に取り組んでいます</p>

No.29 1992/9	<p>【特集】自主的に学び、共に生きがいをつくる —「生きがい創造運動」の試み—</p> <p>☆サロン・ド・市民：日常の中の国際化を/社会の変化と教育の変化/科学教育の秘訣 ソ連共産党の崩壊・ソビエト連邦の解体に思う</p> <p>☆教育トピックス：ポストン子ども博物館と学校週5日制 / 在宅介護—それから</p> <p>☆おすすめの本：『第一次地球革命—ローマクラブ・レポート』『国境の越え方—比較文化論序説』</p>
No.30 1993/11	<p>【特集】小学校教員のためのコンピュータ・リテラシー入門研修の試み —茨城県水海道市初級コンピュータ講座実施報告— …………… 矢口哲郎/白尾彰浩</p> <p>■警鐘再び「三題話」…………… 矢口 新</p> <p>■富山から：パネルディスカッション「これからの教育を考える」/『矢口新選集』発行記念パーティ</p> <p>☆教育トピックス：市民による国際交流ことはじめ/在宅ケアで思うこと</p> <p>☆子育て日記5：わが家のファミコン事情 …………… 矢口みどり</p> <p>☆海外ニュース ☆おすすめの本 ☆サロン・ド・市民 ☆ADEデー報告</p>

2. 能力開発ニュース 31～66号（アドヴァンス・サロン改め）

No.31 1994/7/15	<p>■オープンディスカッション（創立25周年記念研究集会） 変革期における創造的主体的な力の開発を目指して</p> <p>■能力開発工学センター近況 コンピュータを使ったSE教育システム研究/「採血」学習システムの研究開発 看護カリキュラム改造の研究の開始/矢口選集とビデオ「主体的行動力を育てる」の普及</p> <p>☆ADE活動報告：とうきょうADE/北陸ADE</p>
No.32 1994/10/5	<p>[巻頭言] 教員のための本格的コンピュータ研修を急げ（白尾彰浩）</p> <p>■教育革新への挑戦に25年の歴史を持つ富山県にてミニ研究会開かる [報告1]新たな一歩 [報告2]看護の場におけるコミュニケーション教育をどう展開するか [報告3]システムリテラシー育成のカリキュラムについて</p> <p>■学習システム設計能力養成セミナー開催：セミナーに参加して（明石西高校教諭 橋本栄介）</p> <p>☆東京 ADEC デー報告：映画「渡り川」（高校生の歴史学習の試み）を見てディスカッション</p>
No.33 1995/1/10	<p>[巻頭言] 安全ビデオで「事故ゼロ」は無理（小澤秀子）</p> <p>■企業訪問—フジ製糖(株)：新入社員に誇りを持たせる教育—自主開発教材が役に立つ（矢口哲郎）</p> <p>■研修協力報告：地域振興にメカトロ技術研修を（矢口哲郎）</p> <p>☆ADEC デーの話し合いから：「会社離れできますか？」</p> <p>☆トピックス：韓国の技術者と技術・教育の交流をしませんか 安川電機研修センターのコンピュータ研修 小諸自動車教習所の新開発「気配り運転診断システム」</p>
No.34 1995/6/1	<p>[巻頭言] 部下の「主体性」、なぜ発揮させられないか（小澤秀子）</p> <p>■能力開発工学—研究集会報告—企業革新を担う、挑戦・開拓する人材をどう育てるか（叶内盛子）</p> <p>☆JADEC（能力開発工学センター）速報 企業人のための能力開発工学1日セミナー / 1日のできるタッチタイピングセミナー研修 / 「能力開発工学」に関するビデオ（全2本）完成 他</p> <p>☆ADE（本物の教育を考える会）：韓国との交流、小さな一歩はじまる</p>
No.35 1995/12/8	<p>[巻頭言]「手順を覚えよ」の教育観に罪あり（小澤秀子）</p> <p>■JADEC（能力開発工学センター）活動報告 ・行動学習への関心広がる—短期セミナー開催 ・看護教育者に新しい波を—教育担当者にセミナー実施</p> <p>☆学習教材・研修：「電気シーケンス制御入門」学習教材 / 看護学習教材「血圧測定の原理」 能力開発工学セミナー第7期開催 / キータイピングの出前研修開始しました</p> <p>☆ADE 研究会報告：ハッチングス・清美さんを招いて教育フォーラム開催 / 韓国 KENCO 訪問</p>

No.36 1996/2/10	<p>[巻頭言] 中小企業の情報システム化と能力開発 (能力開発工学センター理事 奥田健二)</p> <p>■能力開発工学セミナーは異業種交流の10日間</p> <p>■コミュニケーション能力は、日常生活でみがくべし</p> <p>☆アドヴァンスサロン (ADE 会員コーナー)</p> <p>ガス転換研修、無事スタート/「安全ってなんだ？」を考え続けて 保健教育協力でバングラディシュに赴任して / いじめ発見は子供世界への着眼から</p>
No.37 1996/5/20	<p>[巻頭言] 中高年の再教育の成否が日本産業の構造転換の成否を決定する (奥田健二)</p> <p>■たった6時間でキータイピングが習得できるのはなぜ? (小澤秀子)</p> <p>■実践報告: 東京ガストレーニングセンターでキータイピング研修実施</p> <p>■ADE 教育フォーラム開催: 「大学改革の現状と課題」 (コスモインターナショナル 渡辺政一)</p> <p>☆アドヴァンス・サロン (セミナー卒業生 ADE 会員のページ)</p> <p>我が社の新入社員教育 / 行動分析セミナーの試み / 子供世界の全体を見る姿勢を</p>
No.38 1996/8/24	<p>[巻頭言] 能開方式は「二分法思考の超克」を意図する (奥田健二)</p> <p>☆アドヴァンス・サロン (セミナー卒業生 ADE 会員のページ)</p> <p>行動を引き出すマルチメディア学習ソフト / 模擬患者の導入 / 企業内教育継続の難しさ 他</p> <p>☆ADE 研究会報告: 映画「鍔金」を見る (渡辺政一)</p>
No.39 1996/10/30	<p>[巻頭言] 相補性思考のすすめ (奥田健二)</p> <p>■現場マンの能力開発 一自主的行動力養成の必要一 (北陸工業専門学校 加賀谷新作)</p> <p>■コミュニケーション能力とは何か、どう育てるか (矢口みどり)</p> <p>☆アドヴァンス・サロン (セミナー卒業生 ADE 会員のページ)</p> <p>文部省学習ソフトウェア研究開発で考えたこと / 韓国交流で思うこと</p> <p>☆ADE 研究会報告: 富山にて「能力開発夏季セミナー」開催 (渡辺政一)</p>
No.40 1997/1/13	<p>[巻頭言] 不言之教 (奥田健二)</p> <p>■能開方式コンピュータ教育を広めたい (能力開発工学センター名古屋分室 西澤明)</p> <p>■「教育」と「自分で考える」ということ (能力開発工学センター理事 井手勝)</p> <p>☆ADE 研究会報告: マルチメディアへの疑問と期待 (11月 ADE デーの話し合いから) インターネットを体験する (12月 ADE デー報告)</p>
No.41 1997/5/15	<p>[巻頭言] 江戸時代の能力開発 (奥田健二)</p> <p>■第一回“能力開発実践発表会”開く</p> <p>報告1 製造現場の中堅社員のための電気・シーケンス研修 報告2 製油プラントオペレータの電気・シーケンス研修 報告3 天然ガス転換に伴うガス器具調整員の教育</p> <p>☆ADE 研究会報告: 3月 ADE デー 探訪〈遊び・創造・発見の森〉科学技術館</p>
No.42 1997/9/20	<p>[巻頭言] アジア新興工業国の保全マンの教育 (奥田健二)</p> <p>■行動分析のすすめ 一「会話」行動の分析一 (小澤秀子)</p> <p>■能力開発工学センター活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動学習への転換をめざすコンサルティング活動 ・能力開発工学セミナー (7月期) / 看護専門学校に対するセミナー (8月) ・学習システムの開発・普及 <p>「機械入門」教材 / 海外工場向け教材「電気入門」「シーケンス制御入門」「PC 入門」 ビデオ教材「コミュニケーション能力を育てる」 血圧測定原理学習用シミュレータ「けつあつくん」特許取得</p>
No.43 1997/10/30	<p>[巻頭言] 行動形成の原点に立った教育改革を (能力開発工学センター常務理事 安田 浩)</p> <p>■転換する企業と企業教育の問題 (ノーケイコンサルタントグループ代表 加藤快三)</p> <p>■楽しく学んで実力がつく一自主的行動学習「電気・シーケンス制御入門」が好評なわけ (小澤秀子)</p> <p>☆矢口新選集に寄せて①「実践する知恵」の育成 (能力開発工学センター ビジネス 坂田 山崎 幸次)</p> <p>☆ADE 研究会報告 (渡辺政一)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 ADE デー「コミュニケーション能力を育てるには」 6月 ADE デー「言葉を楽しく学ぶ工夫を考える」 8月 ADE デー「バングラディシュでの保健活動を終えて」

No.44 1998/1/7	[巻頭言] 近代の分析的思考と「関係構造」的思考と (奥田健二) ■転換する企業と企業内教育の問題2 (加藤快三) ■行動分析のすすめ 一会話行動の分析一 (小澤秀子) ☆センターだより: 食品製造会社企業内大学の支援他
No.45 1998/3/20	[巻頭言] 教育訓練「デュアル・システム」の問題点と JADEC 方式 (奥田健二) ■製造業におけるオープン・システム化の動向とその意味 (AIE 研究社代表 芝尾紘一) ■行動分析のすすめ: コミュニケーション能力の学習、どうしたら効果上がるか (小澤秀子) ☆ADE だより: 探究教室の実践 (北陸 ADE 研究会 明瀬正則)
No.46 1998/7/15	[巻頭言] 識を断つ (奥田健二) ■行動分析のすすめ: トラブル対応能力について考える (小澤秀子) ☆矢口新選集に寄せて②: 未来に向かう行動 (山口孝次) ☆個を育てる
No.47 1998/9/16	[巻頭言] 内発的エネルギーの尊重 (奥田健二) ■電気・シーケンス制御学習実践レポート 聴覚障害生徒の就労促進教育 (神奈川県平塚ろう学校 高橋義雄 / 中村光慶) ☆JADEC からのお知らせ モデルチェンジ「電気・シーケンス制御入門」/ 試作・実践「ネットワーク時代のコンピュータ教育」指導者研究カリキュラム / レポートに内在する姿勢を読み取る / 「けつあつくん」他 ☆矢口新選集に寄せて③: 惰性を断ち切って (山口幸次)
No.48 1999/1/25	[巻頭寸言] 反観合 ープラスマイナスの両面を見ることの重要性ー (奥田健二) ■現場マン教育拝見 ー日本ピストンリング栃木工場訪問ー (矢口哲郎) ■富山探究クラブ実践報告: 面白い授業づくりに向けて (北陸 ADE 研究会 米島秀次) ☆矢口新選集に寄せて④: 社会の指導者 (山口幸次)
No.49 1999/4/5	[巻頭寸言] 小さな成功を積み上げて大きな改革へ (奥田健二) ■実践報告: 仙台市ガス局の調整員教育 (仙台市ガス局研修センター 庄司陽一) ■授業の準備に知恵と技術を結集する体制を (小澤秀子) ■センターだより: 製造現場マンの能力開発 / 大学における情報教育の実践 / 久留米大学看護学科 行動分析研修 / 富山県看護協会セミナー ☆矢口新選集に寄せて⑤: 真の目的 (山口幸次)
No.50 1999/6/18	[巻頭寸言] 東洋の新次元の発見 (奥田健二) ■CAI の新時代到来 (1) MD (ミニディスク) による自主的学習 (能開センター常務理事 井手勝) ■脳を目覚めさせる (小澤秀子) ☆矢口新選集に寄せて⑥: 過去の住人、現在の住人。未来の住人が共有する世界 (山口幸次)
No.51 2000/4/28	[巻頭寸言] 教育立国は学校の再生から (小澤秀子) ■CAI の新時代到来 (2) MD レコーダに代表される新技術と教育 (井手勝) ■研究会報告: ミュルタ学習によって育つ自主的学習姿勢ー横浜市立商業高校理容科 (叶内盛子) ■活動報告: ①製造現場のリーダーを育てる企業内大学ーカルビー(株) (矢口哲郎) ②自動車教習指導員研修ーコヤマドライビングスクール (矢口哲郎) ③主体性をどう育てるかー看護技術教育の場で (矢口みどり) ☆矢口新選集に寄せて⑦: 心を育てる教育の実践を急ごう (北陸 ADE 研究会 盛野成信) ☆4 年目を迎えた「富山探究クラブ」 ☆ADE 会員コーナー: 小諸自動車教習所の安全教室 20 年
No.52 2000/8/28	[巻頭寸言] 学校で何を育てるか ー朝顔観察の学習から考えるー (矢口みどり) ■実践報告: IT 時代の教員を育てる「夏季コンピュータ研修」開催ー茨城県水海道市にてー ■シニア社会の IT 能力開発 ー三鷹市パワソフラー研修ー (能開センターインストラクター 白尾彰浩) ■プロジェクトが意欲を生む (矢口哲郎) ☆能力開発工学センター名古屋分室近況: これからも能開方式を (西澤明) ☆インターネットは教育を変えるか? (記録映画社 榊正昭) ☆看護セミナー報告: 人間行動の見方 ☆矢口新選集に寄せて⑧: 探究の態度を育てる実践について (盛野成信)
No.53 2001/3/12	[巻頭寸言] 臆せず「挑戦」しよう (小澤秀子) [実践報告] 松下、ペルーでも能開方式ー「電気・シーケンス制御」学習による製造スタッフ研修 (松下電池工業(株) 中都留秀男 談) ☆「毎回ドキドキ何が起こるかわからない、でも楽しい」ー総合的学習で育つものー (矢口みどり) ☆矢口新選集に寄せて⑨: 探究で育つものは何か (盛野成信)

No.54 2001/8/27	<p>[巻頭寸言] 「日本の現場労働者の質は世界一」 (奥田健二)</p> <p>■JADEC・2001年度の活動</p> <p>■探究クラブ実践報告: 「本ものの教育」を求めて (北陸 ADE 研究会 松本司朗)</p> <p>☆ご利用下さい: IT活用能力を育てる行動学習テキスト/ゆうゆうタイピング (タッチタイピング教材)</p>
No.55 2001/11/8	<p>[巻頭寸言] 最新の人材開発技法の展開と土着民俗的慣習との融合 (奥田健二)</p> <p>[実践報告] ネットワーク技術を活用する力を育てるには—水海道市「夏季教員研修」を終えて</p> <p>[セミナー報告] 看護技術指導者のためのセミナー 高山赤十字/都立豊島看護専門学校にて</p> <p>☆学校が育てているもの—同時多発テロ事件への対応に思う— (矢口みどり)</p> <p>☆「脳の研究」最新情報 ☆米軍のアフガニスタン攻撃について—編集後記にかえて—</p>
No.56 2002/1/28	<p>[巻頭寸言] 2002年の念頭に思う (常務理事 井手 勝)</p> <p>■MD技術を考察する (3) MD(ミディアル)は新しい文化を生み出す (井手勝)</p> <p>☆脳行動学講座: 指示と指導—いかに相手の脳を働かせるか (矢口みどり)</p> <p>[随想] ”手”二題 (奥田健二)</p>
No.57 2002/7/20	<p>【巻頭寸言】 厳しい体験こそが最も有効な能力開発の場である (奥田健二)</p> <p>■実践の場から: Learning by doing の教材と思想が大活躍です (松下電池工業(株)中津留秀男)</p> <p>■門司工場、その後 (協立エンジニアリング 兵頭 暁)</p> <p>[随想] 「忙しくてケンカする暇ねえ!」—光れ!泥だんご— (小澤秀子)</p>
No.58 2002/11/28	<p>[巻頭寸言] 「脳を育む」研究に期待する (事務局長 小澤 秀子)</p> <p>[実践報告] 教員コンピュータ夏季研修 一茨城県水海道市での実践、3年目— (研究開発部)</p> <p>☆脳行動学講座 2: 失敗から学ぶ力を育てる ☆雑感: 理科の授業を観察して (白尾彰浩)</p> <p>[随想] 人間の大切さということ—神雷特攻隊の碑に詣でて— (奥田健二)</p>
No.59 2003/2/17	<p>[巻頭寸言] 本当の勉強 (矢口みどり)</p> <p>☆『理科デジタルコンテンツを利用した授業』の調査進む ☆コミュニケーション学習書できました</p> <p>☆通信: 「北日本新聞に「探究クラブ」の記事が載りました」 (北陸 ADE 研究会 明瀬正則)</p>
No.60 2003/7/18	<p>[巻頭寸言] 理科離れ対策の原点—会長就任のご挨拶にかえて (能力開発工学センター会長 加賀谷新作)</p> <p>■着手しました: 教員のための科学技術・理科教育研修に関する実践研究 他 (研究開発部)</p> <p>☆脳行動学講座 3: 脳をはたらかせているか (矢口みどり)</p> <p>【随想】 “相手と一体となる” —矢口先生を偲んで— (能力開発工学センター評議員 奥田健二)</p>
No.61 2003/12/18	<p>[巻頭寸言] フィンランドの教育改革 (矢口みどり)</p> <p>■富山探究クラブ訪問記: 「本ものの教育」6年、新しい歩みを探る (小澤秀子)</p> <p>☆脳行動学講座 4: 20%の授業 (矢口みどり)</p> <p>【随想】 性急な「成果主義」は真実の成果を取り逃がす (奥田健二)</p>
No.62 2004/4/5	<p>[巻頭寸言] 日本思想 (仏教教典) の海外への発信 (奥田健二)</p> <p>■理科を楽しく学ぶために—「理科離れ」解決への一つの試み— (矢口哲郎/白尾彰浩)</p> <p>☆脳あれこれ: 脳のストレッチ (小澤 秀子) ☆IT学習の坎どころ・目次</p>
No.63 2004/6/18	<p>[巻頭寸言] 明日に向かって40年 (常務理事 小澤秀子)</p> <p>■実践の場から: Learning by Doing 方式が言葉の壁を打ち破る</p> <p>—中国工場のリーダーを育てる研修を終えて— (松下電池工業(株)中津留秀男)</p> <p>■活動報告: デジタル教材を活用した授業の映像記録作成・分析調査終了</p> <p>理科好きを育てるための条件を探る」研究 / 看護教育関係者にセミナー実施</p> <p>[随想] 拝金主義の克服は何によって可能か (奥田健二) ☆脳あれこれ: 文字を書くこと</p>
No.64 2004/10/7	<p>[巻頭寸言] 「基本重視」がもたらした金メダル (小澤秀子)</p> <p>■対談: eラーニングは教育を変えるか (白尾彰浩/榊正昭)</p> <p>■活動報告: 小学校での電気の学習 / 小中学校教師のコンピュータ研修 / 聾学校での主体的学習</p> <p>[随想] 地域社会の教育力の復活 (奥田健二) ☆脳行動学講座 5: 脳の応用力 (矢口みどり)</p>
No.65 2005/1/28	<p>[巻頭寸言] 教室を人間交流の場にするために (小澤秀子)</p> <p>■座談会: 「現場力」を育てる (研究開発部) ■理科教育研究報告会 (矢口哲郎)</p> <p>[随想] リーダーを選ぶ (評議員 奥田健二)</p>
No.66 2005/3/30	<p>[巻頭寸言] 授業の質を高めるには (小澤秀子)</p> <p>■現場映像の解析で育てる論理的思考力 (矢口哲郎)</p> <p>■学力低下問題を考える: フィンランドに何を学ぶか (矢口みどり)</p> <p>☆脳行動学講座 6: 脳の活性化 (矢口みどり) ☆MITの新しい授業 (榊正昭)</p> <p>[随想] ムシャワラー海外進出における心構え (奥田健二)</p>

3. JADECニュース 67～100号

No.67 2005/10/4	[巻頭言] 一人一人を楽しく学ばせ、確実に育てる(常務理事 矢口哲郎) ■JADEC 看護技術の学習、韓国で好評(小澤秀子) / 自動車教習所指導員のための「教習分析」研修 ☆脳行動学講座7 脳の働き方に合った学習のしかた(矢口みどり) [随想] 『命屋さん』の詩に教えられたこと(奥田健二)
No.68 2006/3/20	[巻頭言] 「ノート」からの問いかけ(小澤秀子) ◀特集▶ グループ学習を考える グループのカー実践からつかんできたこと / 学習者が語るグループ学習 他 ☆脳行動学講座8: グループ学習の脳行動学的意味(矢口みどり) ☆活動報告 看護教育研究チーム ☆トピック: 探究クラブの菅野君「ジュニア科学章・とやま」受賞 [随想] 荻生徂徠の勉強法から学ぶこと(奥田健二)
No.69 2006/6/30	[巻頭言] 仕事が育てる(小澤秀子) ■doingとシミュレーション 製造感覚を育てたミニ実験(研究開発部) ☆矢口新選集を読む インストラクショナルデザインの方向(榊正昭) ☆活動報告: JADEC 基礎看護技術学習 / コミュニケーション学習システム ☆脳行動学講座9: 長く見るじっと見る(矢口みどり) [随想] 寺内町の残した教訓—自立自営の精神(奥田健二)
No.70 2006/11/15	[巻頭言] 再考、理科教育センター(加賀谷新作) ■理科離れ対策、教師の授業力育成が鍵(山極隆) ■関心呼んだラーニング・バイ・ドゥーイング—夏季国際シンポジウムに参加して(小澤秀子) ☆国際調査が教えてくれること [随想] 近代を超えて……評議員 奥田健二
No.71 2007/3/30	[巻頭言] 教師を育てる、学校を育てる(編集部) ■教育再生の視点: 水海道小学校のあり方 / 脳行動学の視点 / 教師を育てる、学校を育てる ☆矢口新選集を読む『近代教育が作り出せない人間像』 ☆脳行動学講座 10: ビールは 23 歳で好きになる(矢口みどり) [随想] 経済人から経営人へ
No.72 2007/10/15	[巻頭言] 技術継承問題を考える視点(矢口哲郎) ■多画面映像学習指導記録の自己分析「学習のしかたの指導が一番大事だとわかった」(研究開発部) ■創造的 OJT ワーク・プレイス・ラーニング ☆とびっく: 矢口教育学研究会、発足しました [随想] 自由な発想を生み出す 楢円型思考 のすすめ(奥田健二)
No.73 2008/1/15	[巻頭言] 教師の育て方—教職大学院への期待—(小澤秀子) ■暗黙知の明示化—グローバル化への鍵(芝尾 紘一) ■矢口教育学研究会活動報告: 子どもが育つ、教師が育つ [随想] 連歌という知的なサロン(奥田健二) ☆一般公開「2006～7年活動報告」
No.74 2008/3/20	[巻頭言] 仕事の中で育てる—指導の実践から思うこと—(矢口哲郎) ■活動報告: eラーニング教材を開発して/学習指導力向上の自己研修プログラムづくり ☆セネガルで見たこと思ったこと(榊正昭) [随想] 離見の見(奥田健二) ☆脳行動学講座 11: 「わかるとできる」ではなく「できるとわかる」(矢口みどり)
No.75 2008/6/30	[巻頭言] 創立 40 年、これからの課題(小澤秀子) ■JADEC が開発した主な学習システム ■英語の学び方(白尾彰浩) ☆脳行動学講座 12: 本当は 30 歳すぎると賢くなる(矢口みどり) [随想] 矢口先生の思い出(奥田健二) ★アフリカ開発会議に思う(榊正昭)
No.76 2008/11/15	[巻頭言] “なぜだろうと思う心”と“探究的行動力”(編集部) ■活動報告: 学習指導映像記録分析の効果測定 / 水海道小での実践から学んだこと ■40年の軌跡から(JADEC 40 周年) 人間行動の分析が生み出した段階的訓練シミュレータ / CAIシステム開発の思い出 / 自動車運転訓練システムの開発/故障発見の論理を育てる / ワーク・プレイス・ラーニングの先駆け ☆脳行動学講座 13: 本当は 30 歳すぎると賢くなる 2 [随想] 恩田木工による藩政改革(奥田健二)

No.77 2009/3/30	[巻頭言] 新しい人間力の視点、コンピテンシー（編集部） ■活動報告：フィードバック制御の学習コース開発中 / 合唱は探究！ 『目からうろこ』の学習システム（学習指導映像分析）他 ■40年の軌跡から：探究行動形成の学習システム（電気のしらべ方） / 自動車の電気 ☆脳行動学講座 14 成長する組織の条件 [随想] 恩田木工による藩政改革Ⅱ（奥田健二）
No.78 2009/9/10	[巻頭言] 期待と危険～最近の脳科学ばやりに思うこと～（矢口みどり） ■地域を建設する人間育成のあり方を探る その1（「矢口新の教育実践」研究チーム） [随想] 小池和男氏の吉野作造賞受賞に思う（奥田健二） <<追悼>> 奥田健二先生（小澤秀子） ☆脳行動学講座 15：冷静に対応する（矢口みどり） ☆アンテナ「企業が求める人間像が見える」
No.79 2009/12/20	■能力開発工学センターのWeb 資料館開設 ■地域を建設する人間育成のあり方を探る その2（「矢口新の教育実践」研究チーム） ■「2009 一般公開展示」 / 「フィードバック制御入門」 ☆脳行動学講座 16：リーダーシップは苦手？ [随想] 定年後のセカンドライフに向けて（小荒井順）
No.80 2010/3/20	[巻頭言] 質の高い製造力を生み出すために（常務理事 矢口 哲郎） ■現場解析学習のすすめ ■地域を建設する人間育成のあり方を探る その3 ☆アンテナ：博士の愛した数式—数学の授業のはじめに ☆脳行動学講座 17：集中と繰り返し [随想] 仲間づくりを楽しむ —セカンドライフ、私の場合（小澤秀子）
No.81 2010/7/30	[巻頭言] 限界をおかない — 研究開発者の姿勢 —（編集部） ■子どもの「社会力」を育てる場、育て方（「矢口新の教育実践」研究チーム） ☆アンテナ：本田由紀の『教育の職業的意義』 ☆脳行動学講座 18：学而不思則罔、思而不学則殆 [随想] 門司工場から始まった我が企業人生（能力開発工学センター理事 米澤崇夫）
No.82 2010/10/30	[巻頭言] 教育を「デザイン」する（編集部） ■建築現場の内側で起きている教育問題（白尾彰浩） ☆アンテナ：プロの活動から見てきた企業の課題 ☆脳行動学講座 19：よい目標設定が行動を育てる [随想] 独自ポリシー確立への模索の日々（米澤崇夫）
No.83 2011/3/30	[巻頭言] アラン・ケイのメッセージ～未来を拓く子どもたちの教育について～（榊正昭） <<特集>> コミュニケーション学習を考える（矢口みどり） ■日本産業教育学会 参加報告：企業内教育部会で提案/中国の勢い感じる「双師型教員」（白尾彰浩） ■水海道小のフィルムライブラリ発見とその後の展開（「矢口新の教育実践」研究チーム） <<安倍晋一氏を偲ぶ>> 温かい眼差しと深い洞察力の人（小澤秀子） ☆脳行動学講座 20：危機を乗り越えるリーダーシップ（矢口みどり）
No.84 2011/ 5/20	[巻頭言] 共に生きる姿勢（編集部） <<特集>> この震災から学んだこと、学ぶべきこと、これからの日本に必要なこと 「想定外」発言に思う / 電気の学習に取り組んできた者として / 経験からの学び ニュース報道の限界と落とし穴 / 原発副読本 / 人とつながる社会 / 新たな目標へ 仙台市ガス局、がんばってます ～庄司陽一さんとの交換メール～ <<追悼>> 金子いつみさん ☆アンテナ：この国の失敗の本質 / 節電ポスター
No.85 2011/10/31	[巻頭言] 本当の民主主義を育てよう（編集部） ■技術継承の決め手を探る（研究開発部） ■コミュニケーションを考える「政治家の言葉」 ☆アンテナ：復興で輝き奪わないで / 二つの映画に見る「人間を育てる教育の形」 ☆脳行動学講座 21：情報の出し方（矢口みどり） ☆活動報告「矢口教育学研究の4年間」
No.86 2012/1/25	[巻頭言] 中国と日本の将来—理事長就任のご挨拶に代えて（能力開発工学センター理事長 沖村憲樹） ■フクシマ原発災害の根源を考える（能力開発工学センター評議員 芝尾紘一） ■学校教育と企業内教育の接点から見たこと（矢口哲郎） ☆アンテナ：サイエンスパーク/50年前の理科教育 ☆脳行動学講座 22：『好き』を育てる
No.87 2012/3/30	[巻頭言] 学生たちは挑戦の機会に飢えている（小澤秀子） ■リンゴの皮むきでつかむ技術学習のポイント（研究開発部） ☆アンテナ：ネーチャーテクノロジー/ネーチャーミュージアム ☆編集部から：教育のつながりが大きな力に～ 仙台市ガス局 庄司さんからの手紙 他 ☆脳行動学講座 23：ピンチをチャンスに変えられるか（矢口みどり） [随想] 壁（白尾彰浩）

No.88	[巻頭言] 9度の失敗があって1度の成功がある(編集部)
2012/11/30	■学び方は変わるか「ある大学の試み 一体験型導入講義一」(榊正昭) ☆図書紹介:『質問力』『聞く力』『キャッチボール』『イチローUSA 語録』 ☆脳行動学講座 24: 毎日やるということ [随想] リベラル・アーツについて(芝尾紘一)
No.89	[巻頭言] 84歳の小学生 一映画になった実話一(小澤秀子)
2013/3/30	■行動分析でスキルアップ「もう一人の自分をつくる」(研究開発部) ■今、生かしたい「地域の課題から組み立てる社会科教育」一2つの小学校の60年前の取り組み一 ■エラーを防ぐ教育のコツ ☆アンテナ: すいガール東大生に勝つ [随想] 澤選手の言葉
No.90	[巻頭言] ホフマンさんの契約書(編集部)
2013/8/30	■どうする、運転員の安全管理能力育成(研究開発部) ■行動分析でみがくコミュニケーション「聞いて話す、話して聞く」(研究開発部) ☆脳行動学講座 25: 相手が変わらないのは、自分のせいだと思った方がよい(矢口みどり) [随想] 我が師その1 米澤滋さんのこと(米島秀次) ☆アンテナ「反転授業」
No.91	[巻頭言] 技術・知識・ノウハウの商品化(能力開発工学センター常務理事 中村章)
2013/12/25	■失敗と成功の行動分析「接客販売のコミュニケーション」(研究開発部) ■ダイジョブ・プロジェクト鈴木大介氏に聞く ☆産業教育学会参加報告(白尾彰浩) ☆脳行動学講座 26: 「なのに」と「だから」(矢口みどり) [随想] 我が師その2 技術は開発するもの(元富山県総合教育センター所長 米島秀次)
No.92	[巻頭言] 安住さんの授業(編集部)
2014/5/20	■高齢者の自動車運転能力は維持・回復できる 一“自覚⇄修正のミューラ”の提案一(研究開発部) ■戦後日本における地域教育計画論の研究 一矢口新の構想と実践一(矢口教育学研究会 越川求) [随想] 我が師その3(米島秀次)
No.93	[巻頭言] 災害列島で生きる力 一「指示待ち」では間に合わぬ一
2014/9/10	■仕事の中で育てる 一コミュニケーション能力一(研究開発部) ☆脳行動学講座 27: 朝顔ってすごい!(矢口みどり) ☆あんでな「注目すべき当然のデータ」 [随想] 映画で脳の若返り(小澤秀子)
No.94	[巻頭言] 認知症とのつきあい方を変えた学習療法~「楽しく学ぶこと」の意味~(小澤秀子)
2014/12/15	■地域を建設する人間形成のあり方を探る 一石巻の小学生の“震災復興まちづくりプラン”一 (研究開発部) ≪追悼、明瀬先生≫ 明瀬先生が願われたこと(小澤秀子) / 自然に学ぶ姿勢(明瀬正則) ☆脳行動学講座 28: 「まずやると決める」 ☆あんでな: 君が僕の息子について教えてくれたこと
No.95	[巻頭言] フランスの男女ペア選挙(編集部)
2015/5/25	■水海道小学校の政治教育 一学校生活の中からつかむ政治の仕組とセンス一(研究開発部) ☆JADECのメールマガジンのご案内
No.96	[巻頭言] 共同研究だからできた(編集部)
2016/1/15	■すれ違う議論にしないために 一安保法制についての国会討論から学ぶこと一(研究開発部) ☆脳行動学講座 29「運動の法則一長く続かせるための3か条」(矢口みどり) ☆対談風随想「アンディ・マレーのスピーチ」
No.97	JADECが目指したもの
2016/3/20	
No.98	47年の軌跡: 能力開発工学センターの活動記録 その1
2016/3/20	開発した学習システム / 人材養成、
No.99	47年の軌跡: 能力開発工学センターの活動記録 その2
2016/3/20	研究集会、研究紀要・報告書発行一覧、機関誌発行一覧 メルマガ発行一覧
No.100	ご支援ありがとうございました
2016/4 予定	

IV. J A D E C メールマガジン

●創刊号 (2014年11月)

- [1] 安住(あずみ)さんの授業から学んだこと
人気アナウンサー安住さんが母校で展開した5分間の授業に込めたものは・・・
- [2] 「失敗」のとらえ方
- [3] 仕事人が人を育てるとは
- [4] JADEC 創立者矢口新の戦後初期の活動について

●第2号 (2014年12月)

- [1] 本当の“民主主義”を育てよう！
政治のテーマはとかく敬遠されがちですが…
- [2] 「アクティブ・ラーニング」教育改革の次の目玉？
- [3] できないことをできるようにする、コーチの仕事とは…
- [4] 子育て日記1 「ピンクは着ないの」
子どもの行動の変化・成長に気づくと、子育てが楽しくなります。

●第3号 (2015年1月)

- [1] ノーベル賞受賞者たちは何を語ったか
2014年3人の日本人受賞者たちに共通したチャレンジ精神。そして過去の受賞者たちにも共通点が…
- [2] フクシマ原発災害の根源を考える
- [3] 子育て日記2 朝の泣き別れ

●第4号 (2015年2月)

- [1] 国を越えて考えなければならないこと
- [2] 受験や入試について本当に考えるべきこと
入試のために知識を詰め込む受験生。彼らは何を考えているのでしょうか。
- [3] 子育て日記プラス3 文字が読めるようになった頃
- [4] JADEC 資料室から(1): 「血圧測定原理学習システム」

●第5号 (2015年3月)

- [1] 特集「3.11 東日本大震災、あのとき考えたこと」
4年前に何を感じ、何を考えたか。あの時の思いを風化させず、進むべき道を考えるために、プレイバック
- [2] JADEC 資料室から(2) 「ラジオの故障発見・修理」

●第6号 (2015年4月)

- [1] 特集「授業、その目標と効果について」
 1. 「20%の授業・・・」
 2. 「学習時間と学習効果」
 3. 「注目すべき、当然のデータ」
- [2] JADEC 資料室から(3) 「林業シリーズ “造林”」

●第7号 (2015年5月)

- [1] 特集「探究的学習が育てるものは何か」
 1. 一番大切にしたこと
 2. 教師たちがつかんだこと
- [2] JADEC 資料室から(4) 構案教材によるコンピュータ・リテラシー学習システム

●第8号 (2015年7月)

- [1] 教育による平和貢献
- [2] 産業技術教育の転換に向けて
- [3] JADEC 資料室(5) 「電気・ツカサ制御入門シリーズ」

●第9号 (2015年8月)

- [1] ビールは23歳で好きになる！？
- [2] アサガオの観察2題
- [3] 今年の夏は“政治”も熱い
- [4] JADEC 資料室から(6)
「脳波の読み方」学習時間を画期的に短縮

●第10号 (2015年9月)

- [1] 特集“スポーツの秋”に向けて
- [2] 子育て日記4
- [3] JADEC 資料室から(7)
天然ガス転換に伴うガス器具調整員養成への支援

●第11号 (2015年10月)

- [1] 特集“芸術の秋です”
- [2] 子育て日記5
- [3] JADEC 資料室から(8) 理容ヘアカッティング 技術

●第12号 (2015年11月①)

- ★教師が中立性を保つのは難しくない

●第13号 (2015年11月②)

- ★いじめが無くならないのはなぜ？
- [1] いじめ問題を脳行動学の視点から考える
- [2] いじめを無くすために大人のできること

●第14号 (2015年12月①)

- ★“学ぶ意欲”を高めるには

●第15号 (2015年12月②)

- ★「グループ学習って何だ?」「これだ！」

●第16号 (2016年1月①)

- ★三題話：宮本武蔵/職場/情報

●第17号 (2016年1月②)

- ★試験からの解放(矢口新論文)

●第18号 (2016年2月①)

- ★学力について考える

●第19号 (2016年2月②)

- ★現代に期待される学力とは…

●第20号 (2016年3月①)

- ★脳行動学講座：本当は30歳過ぎてから賢くなる1

●第21号 (2016年3月②)

- ★脳行動学講座：本当は30歳過ぎてから賢くなる2

メールマガジンの配信は、
法人閉鎖後も有志が続けて行く予定です。

<http://www.jadec.or.jp/j-magazine/>